

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	道路の落石対策等		事業番号、事業名	30 道路災害防除(国道)			補助・単独別	補助	建設部 道路管理課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
1	(国)299号 やごおり 八郡  (佐久穂町)	事業延長 L=790m W=5.5(7.0)m 法面对策工 8箇所 (ロックフェンス、法枠、吹付)  (工期:H17~H24)	法面对策工 2箇所	法面对策工 2箇所	法面对策工 3箇所	必要性 B	80%	H22までに5箇所の対策が完了し、H23は2箇所の対策を実施する。	H22.9月に発生した落石箇所の対策を新たに行うこととし、事業を拡大して実施したい。	新たな落石に対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」	
			2億4400万円	2930万円	2500万円	5000万円	重要性 B	特記事項 H22変更 1箇所追加 工期延長 1年 H21.10月に発生した落石に伴う追加対策。				
							効率性 A	H23変更 1箇所追加 工期延長 1年 事業費2千9百万円増 H22.9月に落石が発生し、新たな対策が必要となってきている。				
							緊急性 B	住民参加状況等 路肩の草刈り、花植えを実施している。				
2	(国)418号 ごけんちや 五軒茶屋～ おのしほ 尾之島  (平谷村～ 飯田市)	事業延長 L=3,560m W=5.5(7.0)m 法面对策工 30箇所 (ロックネット、ロックフェンス、吹付)  (工期:H14~H23)	法面对策工 4箇所	法面对策工 4箇所	法面对策工 4箇所	必要性 A	92%	計画どおり進んでいる。 H22までに26箇所の対策が完了し、H23は4箇所の対策を実施し、事業完了。	下伊那南部地域を東西に結ぶ重要な生活道路であるが、災害発生頻度が高いため、早急に防災対策を講じ、H23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
			7億1000万円	7000万円	4600万円	6000万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
							効率性 B					
							緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
3	(国)158号 なかのゆ 中ノ湯～ いねこきばしした 稲核橋下  (松本市)	事業延長 L=1,130m W=6.0(8.0)m 法面对策工 8箇所 トンネル補修工 2箇所 路肩対策工 1箇所  (工期:H21~H28)	法面对策工 1箇所 路肩対策工 1箇所	法面对策工 2箇所 路肩対策工 1箇所	法面对策工 7箇所 路肩対策工 1箇所	必要性 A	38%	H22までに3箇所の対策が完了し、H23は3箇所の対策を実施する。	H22.7月に発生した落石箇所の対策を新たに行うこととし、事業を拡大して実施したい。	新たな落石に対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」	
			4億7300万円	1億1610万円	1億4000万円	2億9100万円	重要性 A	特記事項 H22変更 2箇所追加 H21に発生したトンネルの漏水と路肩沈下に伴う追加対策。				
							効率性 B	H23変更 1箇所追加 H22.7月に落石が発生し、新たな対策が必要となってきている。				
							緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
4	(国)403号 ひがしかわて 東川手  (安曇野市)	事業延長 L=570m W=6.0(8.0)m 法面对策工 12箇所 (ロックネット、法枠)  (工期:H21~H23)	法面对策工 6箇所	法面对策工 2箇所	法面对策工 2箇所	必要性 A	87%	H22までに10箇所の対策が完了し、H23は2箇所の対策を実施し、事業完了。	H22.4月に崩落したモルタル吹付法面の対策を新たに行うこととし、事業を拡大して実施し、H23年度での完了を図る。	新たなモルタル吹付法面の崩落に対する追加対策の必要性が認められる。 平成23年度での完了を図る。	「拡大」	
			1億5000万円	8000万円	2000万円	2000万円	重要性 B	特記事項 H23変更 1箇所追加 事業費4千万円増				
							効率性 B	H22.4月にモルタル吹付法面が崩落し、新たな対策が必要となってきている。				
							緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	道路の落石対策等	事業番号、事業名	30 道路災害防除(国道)			補助・単独別		補助	建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
5	(国)148号 うみのくち そとぎわ 海ノ口～外沢  〔大町市 ～小谷村〕	事業延長 L=2,020m トンネル補修工 1,360m 法面对策工 660m (ロックフェンス) 〔工期:H18～H24〕	法面对策工 L=540m	法面对策工 L=50m	法面对策工 L=70m	必要性 A	65%	計画どおり進んでいる。 H22までにトンネル補修工と法面对策工の一部 が完了し、H23は法面对策工を実施する。	北陸と関東、中部を結 ぶ重要な幹線道路で 緊急輸送路でもあるた め、早急に対策を講じ たい。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A					
		2億8900万円	1億円	4300万円	1億円	緊急性 A	住民参加状況等 毎年沿道美化活動等を実施している。				
6	(国)406号 しほまわた 白沢下～ すずなな 裾花トンネル  〔白馬村～ 長野市〕	事業延長 L=1,650m W=5.5(7.0)m 法面对策工 17箇所 (ロックネット、法枠) 〔工期:H14～H23〕	法面对策工 1箇所	法面对策工 2箇所	法面对策工 2箇所	必要性 A	89%	計画どおり進んでいる。 H22までに15箇所の対策が完了し、H23は2 箇所の対策を実施し、事業完了。	長野市戸隠、鬼無里 の住民にとっては、生 活圏の中心都市であ る長野市街地とを結 ぶ重要な生活道路で あり、交通の安全確保 が強く求められてお り、H23年度での完了 を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A					
		5億円	3780万円	5000万円	5500万円	緊急性 A	住民参加状況等 側溝清掃を自主的に行っている。				
7	(国)292号 よこ 横ぞり  〔山ノ内町〕	事業延長 L=620m W=6.5(7.5)m 壁面補修工 620m 〔工期:H19～H23〕	壁面補修工 L=100m	壁面補修工 L=70m	壁面補修工 L=70m	必要性 A	89%	H22までに壁面補修工の一部が完了。H23は さらに壁面補修工を実施し、事業完了。	落石対策工について 別事業で対応すること とし、H23に壁面補修 工を実施し、H23年度 での完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「縮小」
						重要性 B	特記事項 H23変更 落石対策工とりやめ 工期短縮 2年 事業費5億1千万円減				
						効率性 A	落石対策工について、H24以降に別事業で対応する。				
		1億9000万円	3220万円	2000万円	2000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
合計		7箇所		3億4400万円							

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	道路の落石対策等		事業番号、事業名		30 道路災害防除(地方道)			補助・単独別	補助	建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	うえのこうみ (一)上野小海線  ぶどう峠  (北相木村)	事業延長 L=1,100m W=3.5(4.5)m 法面对策工 9箇所 (ロックフェンス、ロックネット、吹付) (工期:H20~H25)	法面对策工 1箇所	法面对策工 1箇所	法面对策工 7箇所	必要性 B	31%	計画どおり進んでいる。 H22までに2箇所の対策が完了し、H23は1箇所の対策を実施する。	落石危険箇所を解消することにより異常気象時の通行規制区間の見直しを行い、通行者の安全確保を図りたい。	落石防止対策の必要性は認められる。	「継続」	
					重要性 B	特記事項 特になし。						
					効率性 A							
			2億3000万円	1640万円	1700万円	1億5820万円	緊急性 B	住民参加状況等 路肩の草刈りを行っている。				
2	しもにたうすだ (主)下仁田白田線  たくち 田口  (佐久市)	事業延長 L=1,115m W=4.0(5.0)m 法面对策工 11箇所 (ロックフェンス、ロックネット) トンネル補修工 1箇所 (工期:H20~H25)	法面对策工 1箇所 トンネル補修工 1箇所	法面对策工 1箇所	法面对策工 9箇所	必要性 A	33%	H22までに3箇所の対策が完了し、H23は1箇所の対策を実施する。	馬坂、広河原地区の生活関連道路として防災対策の必要性が高いことから、継続して事業を実施したい。	必要性が高い。	「継続」	
					重要性 B	特記事項 特になし。						
					効率性 B							
			2億7000万円	4130万円	2500万円	1億8200万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
3	(主)うつくしがはらこうえんお 線 ひろがわら 広川原  (上田市)	事業延長 L=888m W=4.0(5.0)m 法面对策工 7箇所 (ロックネット、ロックフェンス) (工期:H20~H25)	法面对策工 2箇所	法面对策工 2箇所	法面对策工 5箇所	必要性 A	40%	H22までに3箇所の対策が完了し、H23は2箇所の対策を実施する。	H22.7月に発生した落石箇所の対策を新たに行うこととし、事業を拡大して実施したい。	新たな落石に対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」	
					重要性 B	特記事項 H23変更 2箇所追加 事業費 2千万円増 工期延長 2年						
					効率性 B	H22.7月に落石が発生し、新たな対策が必要となってきている。						
			1億7000万円	2690万円	2700万円	1億280万円	緊急性 B	住民参加状況等 工事に必要な土地や手続きについて、上田市(旧武石村)地域自治センターが中心となって調整をしている。				
4	きりがみねがしもちや (一)霧ヶ峰東餅屋 線 きりがみね 霧ヶ峰  (下諏訪町)	事業延長 L=633m W=5.5(7.0)m 法面对策工 8箇所 (モルタル吹付、擁壁補修) (工期:H22~H25)	法面对策工 1箇所	法面对策工 4箇所	法面对策工 7箇所	必要性 B	22%	計画どおり進んでいる。 H22までに1箇所の対策が完了し、H23は4箇所の対策を実施する。	観光道路として路線の重要性が高いことから、早期に危険箇所を解消し通行車両の安全確保を図りたい。	緊急性が認められる。	「継続」	
					重要性 B	特記事項 H23変更 事業費 1億3千万円増						
					効率性 A	詳細設計の結果、対策工法の変更および仮設工増額の必要が生じたため、事業費の増を行った。						
			2億3000万円	5000万円	5800万円	1億8000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	道路の落石対策等	事業番号、事業名	30 道路災害防除(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
5	こまがねこまがたけ (主)駒ヶ根駒ヶ岳 公園線  なかごしよ 中御所  (宮田村～ 駒ヶ根市)	事業延長 L=580m W=5.0(6.0)m 法面对策工 13箇所 (ロックネット、ロックフェンス、 吹付)  (工期:H17～H24)	法面对策工 2箇所	法面对策工 3箇所	法面对策工 6箇所	必要性 A	72%	計画どおり進んでいる。 H22までに7箇所の対策が完了し、H23は3箇 所の対策を実施する。	大雨等により頻繁に 災害が発生し、観光 客等の孤立などをもた らしており、継続して 対策を進める必要が ある。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」
		重要性 A	特記事項 特になし。		緊急性 B	住民参加状況等 バス運行会社は工事に伴う通行止に協力的であり、日常簡易 な維持管理を行っている。					
		効率性 B	4億2000万円	9720万円			4000万円	1億1800万円			
		緊急性 B									
6	あなんねば (主)阿南根羽線  はしがわ おどな 巾川～小戸名  (阿南町～ 根羽村)	事業延長 L=3,674m W=3.0(4.0)m 法面对策工 25箇所 (ロックネット、ロックフェンス、 法枠、擁壁)  (工期:H17～H26)	法面对策工 10箇所	法面对策工 2箇所	法面对策工 9箇所	必要性 A	49%	H22までに16箇所の対策が完了し、H23は2 箇所の対策を実施する。	H22.7月に発生した落 石箇所の対策を新た に行うこととし、事業を 拡大して実施したい。	新たな落石に対する 追加対策の必要性 が認められる。	「拡大」
		重要性 A	特記事項 H22変更 7箇所追加 4億円増 H21.10月に発生した岩盤崩落等に伴う追加対策。		緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
		効率性 A	12億円	1億220万円			8400万円	6億1640万円			
		緊急性 B									
7	てんりゅうこうえん (主)天竜公園阿 智線  まんの おあくほ 金野～大久保  (泰阜村～ 下條村)	事業延長 L=2,880m W=4.0(5.0)m 法面对策工 8箇所 (ロックネット、ロックフェンス、 吹付)  (工期:H18～H23)	法面对策工 4箇所	法面对策工 1箇所	法面对策工 1箇所	必要性 A	86%	計画どおり進んでいる。 H22までに7箇所の対策が完了し、H23は1箇 所の対策を実施し、事業完了。	落石や土砂崩落が頻 発していることから、 継続して事業を実施 し、早急に対策を講 じ、H23年度完了を図 る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
		重要性 B	特記事項 特になし。		緊急性 A	住民参加状況等 沿線の草刈りを実施している。					
		効率性 B	3億6100万円	9000万円			5000万円	5000万円			
		緊急性 A									
8	まつかわ (主)松川インター おおしか 大鹿線  こしほ 小渋  (中川村～ 大鹿村)	事業延長 L=876m W=5.0(6.0)m 法面对策工 17箇所 (ロックネット)  (工期:H17～H23)	法面对策工 3箇所	法面对策工 1箇所	法面对策工 1箇所	必要性 A	93%	H22までに16箇所の対策が完了し、H23は1 箇所の対策を実施し、事業完了の予定。	H22.8月に発生した岩 盤崩落箇所の対策を 新たに行い、H23年度 完了を図る。	新たな岩盤崩落に対 する追加対策の必要 性が認められる。 平成23年度での完 了を図る。	「拡大」
		重要性 B	特記事項 H22変更 2箇所追加 事業費2千万円増 工期延長1年 H21.6.7月に発生した落石、岩盤崩落に伴う追加対策。		緊急性 A	住民参加状況等 地元住民や飯伊砂利組合等により、沿線の草刈りを実施して いる。					
		効率性 A	2億2500万円	9860万円			1500万円	1500万円			
		緊急性 A									

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	道路の落石対策等	事業番号、事業名	30 道路災害防除(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
9	かみいいた (一)上飯田線  かみむら うじのり 上村～氏業  (飯田市～ 喬木村)	事業延長 L=2,115m W=3.0(4.0)～5.5(7.0)m 法面对策工 21箇所 (ロックネット、ロックフェンス、 吹付)  (工期:H22～H26)	法面对策工 1箇所	法面对策工 2箇所	法面对策工 20箇所	必要性 A	8%	計画どおり進んでいる。 H22までに1箇所の対策が完了し、H23は2箇 所の対策を実施する。	落石が頻発していること から、継続して事業 を実施し、早急に対策 を講じたい。	必要性が高く、重要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 B					
		3億円	2140万円	3000万円	2億7700万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
10	あおまちおみ (主)大町麻績 インター千曲線  さんせいら ましきり 山清路～差切  (生坂村～ 筑北村)	事業延長 L=600m W=5.0(6.0)m 法面对策工 15箇所 (ロックネット、ロックフェンス、 吹付)  (工期:H16～H25)	法面对策工 1箇所	法面对策工 5箇所	法面对策工 7箇所	必要性 A	76%	H22までに8箇所の対策が完了し、H23は5箇 所の対策を実施する。	他事業により落石危 険箇所1箇所が解消さ れる見込みのため、 事業規模を縮小した い。	必要性が高く、緊急 性も認められる。	「縮小」
						重要性 B	特記事項 H22変更 8箇所追加 1億2千万円増 工期延長3年 H20.4月、H21.1.2月に発生した岩盤崩落、落石に伴う追加対策。				
						効率性 A	H23変更 1箇所減 事業費2千万円減 他事業により落石危険箇所1箇所が解消される見込み。				
		3億8000万円	3360万円	2300万円	9000万円	緊急性 A	住民参加状況等 地域住民に道路清掃をさせていただいている。				
11	とよのみなみしが (主)豊野南志賀 公園線  やまだいり 山田入  (高山村)	事業延長 L=810m W=5.5(7.0)m 法面对策工 9箇所 (ロックネット、法枠、 擁壁)  (工期:H21～H26)	法面对策工 3箇所	法面对策工 1箇所	法面对策工 4箇所	必要性 A	49%	H22までに5箇所の対策が完了し、H23は1箇 所の対策を実施する。	H22.10月に発生した 落石箇所及び周辺斜 面の対策を新たに行う こととし、事業を拡大し て実施したい。	新たな落石や浮石に 対する追加対策の必 要性が認められる。	「拡大」
						重要性 A	特記事項 H23変更 3箇所追加 事業費 1億2千万円増 工期延長 1年				
						効率性 B	H22.10月に落石が発生し、周辺斜面にも浮き石が多数確認さ れたため、新たな対策が必要となってきている。				
		5億2000万円	1億8500万円	5000万円	2億6300万円	緊急性 B	住民参加状況等 落石等の異状時の通報や見通しの悪い部分の草刈を行っている。				
12	ながのすがだいら (主)長野菅平線  まどいわ 窓岩  (長野市)	事業延長 L=713m W=5.5(7.0)m 法面对策工 7箇所 (ロックネット、ロックフェンス、 法枠)  (工期:H20～H26)	法面对策工 1箇所	法面对策工 2箇所	法面对策工 6箇所	必要性 A	54%	H22までに1箇所の対策が完了し、H23は2箇 所の対策を実施する。	H21冬期閉鎖期間中 に発生した落石の対 策を新たに行うこと とし、事業を拡大して実 施したい。	新たな落石に対する 追加対策の必要性 が認められる。	「拡大」
						重要性 B	特記事項 H23変更 1箇所追加 事業費 3千5百万円増 工期延長 2年				
						効率性 A	H21冬期閉鎖期間中に落石が発生し、新たな対策が必要となっ てきている。				
		1億5500万円	1860万円	1700万円	7100万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	道路の落石対策等		事業番号、事業名	30 道路災害防除(地方道)			補助・単独別	補助	建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
合計	12箇所		4億3600万円								